

# 第8号 稲作防除特報 (中生・晩生版)

令和4年7月15日  
朝日町  
黒東地域農業技術者協議会

## ～斑点米カメムシ類の発生に注意！被害防止に努めましょう～

今年、気温が高く推移していることから、斑点米の要因となるカメムシ類は、畦畔や雑草地に多く生息しています。収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。



アカスジカスミカメ

### 「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」など中生

### 及び「てんこもり」など晩生の基本防除 (10a当たり散布量)

防除時期	中生	1回目 走り穂 7月25日(月)～7月27日(水)	2回目 穂揃期 8月2日(火)～8月4日(木)
	晩生	1回目 走り穂 7月28日(木)～7月30日(土)	2回目 穂揃期 8月5日(金)～8月7日(日)
粉剤体系	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドキラップ粉剤DL (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)
	4kg(収穫14日前まで)		4kg(収穫14日前まで)
液剤体系	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドK2フロアブル (いもち病、カメムシ類)
	1000倍+1000倍/100～150ℓ (収穫14日前まで)		1000倍/100～150ℓ (収穫14日前まで)
ラジヘリ体系※ (ドローン防除)	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドK2フロアブル (いもち病、カメムシ類)
	8倍+8倍/0.8ℓ(収穫14日前まで)		8倍/0.8ℓ(収穫14日前まで)

※1回目及び2回目防除の間隔は、10日以上あけ過ぎないようにしましょう。

※無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

#### ○薬剤散布時の留意点

- ・1回目の防除は、株元に薬剤がかかるように落水状態で散布しましょう。
- ・使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・水田周辺(畦畔や雑草地など)にも、薬剤がかかるように散布しましょう。

#### ○ほ場管理時の留意点

- ・斑点米カメムシ類の被害を助長する、水田内のノビエやホタルイなどの雑草は抜き取りましょう。
- ・畦畔などの雑草も、斑点米カメムシ類のすみかとなるため、雑草の穂が出ないように管理しましょう。